

第 3 章

計画の基本目標と取組の体系

基本目標

自ら読書に親しみ、夢や希望を持ち、未来を切り拓く

基本方針	I 家庭	II 学校
自ら学ぶ喜びを知り、探求する姿勢の獲得の支援 	・ 未就学児が読書を身近に感じられる環境の整備 継続 ・ 家読（うちどく）の推進 新規 ・ ブックスタートの充実 継続	・ 学校司書の充実 ・ 放課後における読書充実 ・ 学校図書館の地域
誰もが等しく読書に親しむことができる環境の整備 	・ 図書館資料の郵送サービス 継続	・ 特別支援学校等児の図書館見学等の
デジタル社会に対応した読書環境の整備 	・ アクセシブルな電子書籍の取扱い 新規 ・ オーディオブックの取扱い 新規	・ 全児童生徒への電アカウント付与 ・ 地域資料のデジタル化
子どもの視点に立った読書活動の推進 		・ 児童生徒の意見をた外国語資料の充 ・ 児童生徒による主図書館づくりの支

子どもたちの育成

基本目標の実現に向けて、
四つの基本方針に基づく事業を展開

Ⅲ 図書館

Ⅳ 地域

新規

書活動の
継続活用
継続童生徒
受入
継続子図書館
新規ルアーカ
新規取り入れ
実
新規体的な
援
新規

・ブック・アート・キッズ
スペースの設置
新規

・多様な読書事業の推進
継続

・中高生年代の読書環境の整備
(英語多読等)
新規

・やさしい日本語を用いた図
書等を展示するりんごの棚
の充実
新規

・電子図書館サービスの充実
新規

・図書館ホームページの充実
継続

・青少年の意見を取り入れた
図書館づくりの推進
新規

・会話などを楽しめる時間帯
やスペースの提供
新規

・高校生年代によるおすすめ
本などの情報発信
新規

・図書館コンシェルジュサー
ビスの検討
新規

・地域施設の読書環境の整備
継続

・働くことへ不安を持つ若者
への支援
新規

・アウトリーチの充実
新規

・地域施設等との連携
継続

・よみきかせ等ボランティアと
施設のマッチング事業
新規

・地域団体と図書館の連携の
強化
継続

・居場所を必要とする子ども
に向けた読書活動支援
新規

